



笛吹市

議会だより

平成25年10月23日発行

2013

Vol.36

GIKAI DAYORI



「リニア中央新幹線」市内を走る!

花鳥山一本杉(御坂・八代)周辺からの眺望

写真提供:丸山秀広様(春日居町)





笛吹市

議会だより 2013 Vol.36

表紙 1

あんない・議会日誌・会期日程 2

倉嶋市長・施政方針 3

9月定例議会でおよび臨時議会決まったこと 4 ~ 8

会派代表質問(5会派) 9 ~ 14

 笛新会 笛政クラブ 誠和会 公明党 日本共産党

一般質問(10人) 15 ~ 20

 保坂 利定議員 神宮司正人議員 古屋 始芳議員

 志村 直毅議員 渡辺 正秀議員 中川 秀哉議員

 川村 恵子議員 荻野 謙一議員 北嶋 恒男議員

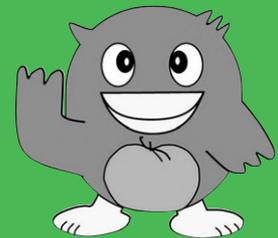
 中村 正彦議員

視察研修 20 ~ 21

委員会レポート 22 ~ 23

市民リレートーク / 議会日程 / 編集コラム笛吹川 24

あんない CONTENTS



議会日誌 GIKAI diary

6月 June

- 1日 芦川町すずらんの里まつり開会式
- 4日 全国過疎地域自立促進連盟理事会
- 7日 議会運営委員会、議会改革検討小委員会、全員協議会
- 14日 第2回定例会本会議
- 議会改革検討小委員会、議会広報編集委員会
- 17日 甲府市議会視察および傍聴
- 19日 第2回定例会本会議(一般質問)
- 20日 第2回定例会本会議(一般質問)、議会改革検討小委員会
- 21日 各常任委員会
- 24日 常任委員会(総務・教育厚生)、笛吹市果実等消費拡大宣伝
- 25日 会派代表者会議、議会改革検討委員会
- 26日 常任委員会(建設経済)、市町村振興協会定時評議委員会
- 27日 富士山世界文化遺産登録報告会、東山梨行政事務組合臨時議会
- 県市町村総合事務組合会議臨時会
- 28日 議会運営委員会、全員協議会
- 第2回定例会本会議(最終日)
- 30日 国文祭夏のステージオープニングセレモニー

7月 July

- 1日 甲府・峡東地域ごみ処理組合打ち合わせ
- 3日 笛吹市社会を明るくする運動推進大会
- 東山梨環境衛生組合議会運営委員会・全員協議会・臨時会
- 4日 議会広報編集委員会
- 7日 山身連市町村議会議員懇談会
- 10日 議会改革検討小委員会
- 11日 議会広報編集委員会
- 16日 甲府・峡東地域ごみ処理施設組合議会・全員協議会・本会議
- 18日 峡東地域広域水道企業団議会・全員協議会・臨時会
- 20日 笛吹川石和鶏飼開き兼国民文化祭「石和鶏飼」

- 23日 議会改革検討小委員会・定例全員協議会
- 徳島県吉野川市行政視察来庁

- 24日 笛吹市経済懇話会講演会・懇親会、山口県岩国市行政視察来庁
- 26日 県市町村議会議員公務災害補償等組合臨時会

8月 August

- 1日 京都府城陽市議会・長野県飯田市議会議員行政視察来庁
- 7日 第1回臨時会議会運営委員会・全員協議会・本会議
- 9日 市議会議長会議員合同(前期)研修会・議会改革検討小委員会
- 16日 甲斐いちのみや大文字焼き
- 20日 東山梨行政事務組合全員協議会・臨時会
- 21日 石和温泉花火大会
- 22日 議会改革検討小委員会
- 甲府・峡東地域ごみ処理施設現地視察(教育厚生)
- 28日 議会運営委員会・議会改革検討小委員会・全員協議会
- 29日 山梨リニア実験線出発式

9月議会・会期日程

- 8月28日(水) ・議会運営委員会
- ・全員協議会
- 9月4日(水)
- 開会
- ・本会議
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・市長行政報告
- ・提出議案の説明
- ・決算審査報告
- ・総括質疑・付託
- 9月6日(金) ・代表質問
- 9月9日(月) 10日(火)
- 一般質問
- 9月11日(水) 20日(金)
- 各常任委員会
- 付託案件・事件審査
- 9月27日(金) 議会運営委員会、
- 全員協議会
- 本会議
- 各委員会の審査報告
- 質疑・討論・採決
- 閉会



倉嶋市長の行政報告

防災対策に取り組み 安全・安心のまちづくりを推進

市政運営の基本姿勢

本市ではこの夏、連日の猛暑で水の供給不足に悩まされる日が続いており、市民生活はもちろん、果樹、農作物への影響もたいへん憂慮されます。

一方、先ごろ全国的に強く降り注いだ、局地的な大雨により特に九州や中国地方では、水害や土砂災害などが相次いで発生しました。

先日、本市では近い将来大きな被害が懸念されている大規模地震を想定した総合防災訓練を実施しましたが、こうしたゲリラ豪雨の頻発という実態を踏まえ、これまでに以上にさまざまな災害を想定した防災訓練に取り組み「災害に強い安全・安心のまちづくり」の推進に努めたいと思います。

おもな事業の状況

1 石和温泉駅 周辺整備事業

契約の締結について議決後、速やかに施行協定を締結し、事業推進を図っているところです。仮設駅舎等の建設も秋口には始まり、工事等本格的に着手していきます。

を学んでまいります。

3 市長トップセールス

6月から7月にかけて東京と大阪でJ A 笛吹と共同による果実の消費拡大宣伝を実施し、さらに8月には北海道旭川市のプロ野球公式戦会場で、観光宣伝と桃の消費拡大宣伝を実施しました。

2 国際交流視察事業

11月4日から8日間、公募した16人の市民と、国際友好都市ドイツ・バートメルゲントハイム市を訪問し、交流を深め、当地の温泉保養や産業振興など、先進的な取り組み

4 笛吹市夏祭り

8月21日の「第49回石和温泉花火大会」では、今年も、音楽とのコラボレーションやレーザー光線を加えた特色ある作品などで、約16万人の皆

さまに興奮と感動を与えました。

5 暴力団同士の抗争 による発砲事件

小中学校は夏休み期間中でしたが、学校安全安心メール等で保護者に注意喚起を行うとともに防犯対策として、青色防犯パトロールカーを増やしました。

6 本庁舎等耐震・改修事業

耐震化と併せ、エレベーター・多目的トイレ等の設置とバリアフリー化によって来庁者の利便性向上を図り、太陽光発電設備・照明のLED化による環境に配慮した本庁舎といたします。

7 御坂浄・配水場 建設事業

7月に浄水場の機械設備工事と電気設備工事、配水場の築造工事の発注を行い、完成は浄水場が26年8月、配水場は年度内の予定です。

8 子ども・子育て 支援新制度

27年度導入予定の「子ども・子育て支援新制度」の施行に

向け、子ども・子育てに関するニーズ調査を、10月頃には保護者を対象に実施いたします。

9 学校教育関係

日川高校野球部の本市出身の選手がたくさん甲子園大会で活躍、また、関東・全国中学校体育大会に延べ118人もの選手が出場し、特に全国中学校陸上競技選手権大会の男子4×100mリレーの石和中学校チームが、3位入賞の快挙を成し遂げました。

10 国民文化祭

「いさわ鶴飼」を笛吹川河川敷で開催、秋のステージで開催する「現代詩の祭典」および「文芸祭俳句大会」それぞれの作品募集を行いました。

9月定例議会における倉嶋市長の施政方針を要約したものです。

平成25年第1回臨時議会提出案件一覧表(8月7日)

(前島敏彦議長を除く)
賛成 反対

種別	案件名	笛新会				笛政クラブ				誠和会			公明党		日本共産党		結果					
		北嶋 恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂 利定	岩沢 正敏	神澤 敏美	荻野 謙一	神宮司正人	上野 稔	前島 敏彦	大久保俊雄	志村 直毅	小林 始	中村 正彦	古屋 始芳		梶原 清	中川 秀哉	渡辺 清美	川村 恵子	渡辺 正秀
その他	・ 契約の締結について(笛吹市立石和中学校給食棟建設工事(建築主体) ・ 契約の締結について(笛吹市立石和中学校給食棟厨房機器購入									議長												認定

平成24年度決算に対する監査意見

代表監査委員 古屋眞彦

7月2日から8月1日まで、監査委員3人で平成24年度の一般会計・16の特別会計決算および水道事業会計、春日居地区温泉給湯事業会計等の監査を実施した結果、正確、適正であると認めた。

「一般会計」

税・料金等の収納率向上は、各部署等が連携したさまざまな滞納対策など、滞納額の縮減に向け真剣に取り組まれた結果、順調に減ってきているが、依然として厳しい状況にある。

関係法令に基づいた収納体制を強化し、今後とも収納率向上対策に取り組むことが重要である。

職員自らが市民第一主義を念頭に、施策の必要性、優先順位を厳しく選択し、限られた資源を効率・効果的な配分を行い、安定した行財政運営を続けられるよう求める。なお、審査の過程で、次の事項について取り組みを望む。

- 1、行財政改革の推進
- 2、市税および料金等の徴収率の向上
- 3、随意契約、委託契約について
- 4、災害等に対する危機管理体制の強化

「国民健康保険会計」
未収金増加は健全運営を妨げる大きな要因。滞納世帯に対し明確な基準を設け、徹底した滞納整理対策と、収入未済額の縮減努力を図りたい。

「介護保険会計」

収納率向上と不納欠損額の縮減のため、給付の制限等を行い、不納欠損額の縮減に一層努められたい。

「介護サービス会計」

予防プランの評価・見直しと、サービス提供で十分な成果を上げ、要支援者が要介護者にならない取り組みを望む。

「後期高齢者医療特別会計」

徹底した整理対策を講じ、滞納者が相談しやすい環境整備と、収入未済額の縮減に努めること。

「公共下水道会計」

収入未済額の縮減を図る対策や、職員の知識向上とコスト削減対策を、公営企業部内で早急に検討すること。

「農業集落排水会計」

より効率的な施設の維持管理で繰

入金の削減に努め、未収金も収納対策を早急に講じること。

「簡易水道会計」

配水管等の漏水で有収率が低い。老朽管の布設替えや職員の経費削減意識の向上など、長期的展望で業務改革を行う必要がある。

「財産に関する調書」

的確な管理が行われているが、公金の運用は慎重かつ効率的な運用を望む。

「水道事業会計」

有収率向上改善策が急務であり、一層の経費削減に努められたい。高額滞納者には法的措置等も含め断固たる姿勢と、公営企業部全体での取り組みを望む。

「温泉給湯事業会計」

督促状の発送、個別徴収の強化等条例改正による法的措置も含め、未収金回収に努めること。

平成
24
年度

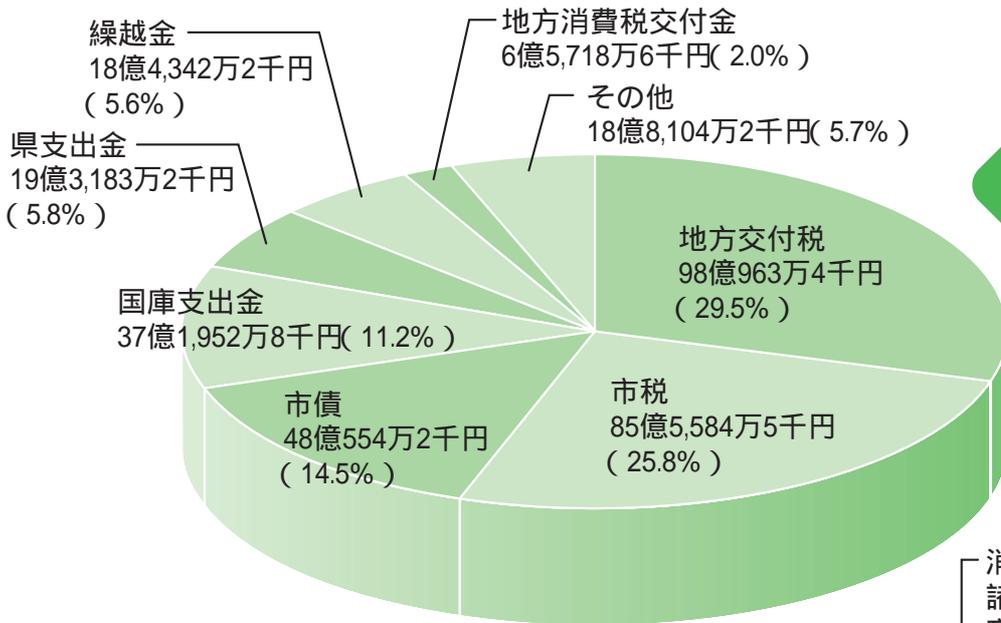
笛吹市の家計簿

一般会計決算

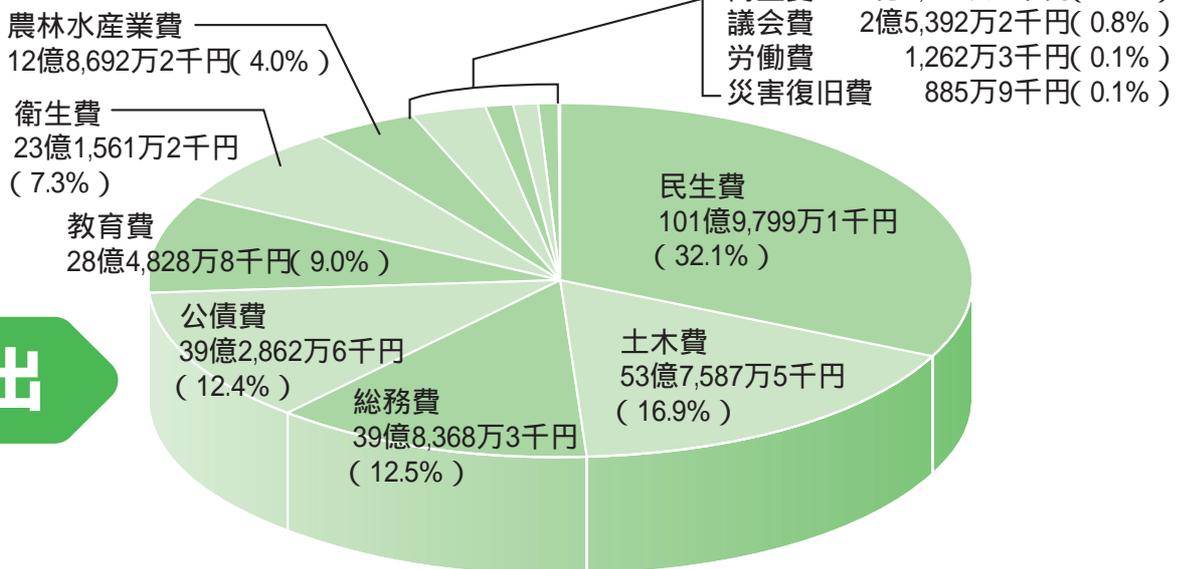
歳入 332億0,403万1千円

差引 14億0,321万円

歳出 318億0,082万1千円



構成比は端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。



市民1人あたりこのように使われました

民生費	1人あたり 142,184円	消防費	1人あたり 13,008円
土木費	1人あたり 74,952円	諸支出金	1人あたり 4,831円
総務費	1人あたり 55,542円	商工費	1人あたり 4,307円
公債費	1人あたり 54,774円	議会費	1人あたり 3,540円
教育費	1人あたり 39,712円	労働費	1人あたり 176円
衛生費	1人あたり 32,285円	災害復旧費	1人あたり 124円
農林水産業費	1人あたり 17,942円		

人口：平成25年4月1日現在(住民基本台帳人口統計表より)

平成24年度 特別会計の決算

国民健康保険会計		介護保険会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
国民健康保険税 22億1,505万円	保険給付費 55億9,063万円	介護保険料 14億7,837万円	保険給付費 49億8,610万円
国庫支出金 22億9,949万円	後期高齢者支援金等 11億2,837万円	国庫支出金 12億1,457万円	総務費 1億3,894万円
前期高齢者交付金 14億7,447万円	共同事業拠出金 9億7,515万円	支払基金交付金 10億1,193万円	地域支援事業費 1億0,339万円
共同事業交付金 9億9,113万円	介護納付金 5億1,657万円	繰入金 8億4,731万円	その他 9,093万円
その他 18億4,527万円	その他 3億3,270万円	県支出金 7億7,335万円	
		その他 1,828万円	
総額 88億2,541万円	総額 85億4,342万円	総額 53億4,381万円	総額 53億1,936万円

介護サービス会計		後期高齢者医療会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
サービス収入 1,517万円	事業費 1,052万円	後期高齢者医療保険料 4億2,569万円	後期高齢者医療広域連合納付金 11億9,398万円
繰越金 424万円	総務費 709万円	繰入金 7億8,521万円	総務費 1676万円
		その他 185万円	諸支出金 44万円
総額 1,941万円	総額 1,761万円	総額 12億1,275万円	総額 12億1,118万円

公共下水道会計		農業集落排水会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
使用料及び手数料 5億4,918万円	公債費 17億9,366万円	使用料及び手数料 826万円	公債費 2,974万円
繰入金 18億5,428万円	下水道事業費 8億1,739万円	繰入金 3,750万円	農業集落排水事業費 1,693万円
市債 1億5,210万円	総務費 1億3,905万円	その他 634万円	総務費 10万円
国庫支出金 6,723万円			
その他 2億1,928万円			
総額 28億4,207万円	総額 27億5,010万円	総額 5,210万円	総額 4,677万円

簡易水道会計		水道事業会計（収益勘定）	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
使用料及び手数料 310万円	水道費 1,899万円	営業収益 11億2,064万円	営業費用 12億3,838万円
繰入金 1,081万円	公債費 422万円	営業外収益 3億7,603万円	営業外費用 2億2,414万円
繰越金 952万円	総務費 236万円	特別利益 円	特別損失 892万円
その他 622万円			
総額 2,967万円	総額 2,558万円	総額 14億9,667万円	総額 14億7,145万円

水道事業会計（資本勘定）		春日居地区温泉給湯事業会計（収益勘定）	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
企業債 2億3,020万円	建設改良費 6億7,818万円	営業収益 7,273万円	営業費用 5,881万円
負担金 7,532万円	企業債償還金 4億1,661万円	営業外収益 24万円	営業外費用 241万円
出資金 2億3,916万円	不足額は補てん財源で措置	特別利益 0	特別損出 215万円
国庫補助金 2,603万円			
総額 5億7,071万円	総額 10億9,479万円	総額 7,297万円	総額 6,337万円

黒駒山外8財産区管理会会計		歳入	総額	歳出	総額
			4,989万円		508万円

人事

人権擁護委員の推薦に
網倉氏と石原氏を承認

網倉 義久（69）再任
石和町市部

石原 均（62）新任
春日居町寺本

（年齢は議決日となります）
任期平成26年1月1日から
平成28年12月31日（3年間）
となります。



発議

「平成25年度公共工事設計労務単価について」の運用にかかる特例措置」の適切な対応を求める決議

平成25年笛吹市議会第3
回定例会における、「平成25年度公共工事設計労務単価について」の運用にかかる特例措置について」ならびに「技能労働者への適切な賃金水準の確保について」にかかる本市の対応については、今回の「特例措置」を適用するにあたり、以下の対応を求める。

記

1、公共工事の発注に際し、国直轄事業にかかる「特例措置」の例に準じて適用しないこと。

2、特例措置を、平成24年度契約の繰越明許事業にも適用するよう検討すること。

3、今回の特例措置に準じた本市の対応は、建設工事標準請負契約約款第25条に

基づくもの（9月25日全員協議会での説明）としたが、既に変更契約を実施したものであるため、以後の対応も含め、改善を図ること。

4、「技能労働者への適切な賃金水準の確保について」の目的を的確に実現できるよう、社会保険等への加入状況ならびに法定福利費の内訳の明示等、適切な指導を行うこと。

5、今回の本市の対応に伴う歳出増の見込み額、財政および事業執行の対策を明らかにすること。

以上、決議する。

平成25年9月27日

笛吹市議会

意見書

取り調べの可視化（取り調べの全過程の録画）の速やかな実現を求める意見書

第1 意見の趣旨
速やかな取り調べの可視化（取り調べの全過程の録画）の実現を推進するよう要望する。

第2 意見の理由

1、裁判で供述調書の任意性や信用性が争われたような場合でも、裁判員がその判断に窮することのないよう、適切な方策が講じられなければならない。

2、取り調べの状況が検証可能となり、これにより初めて裁判員が供述調書の任意性や、信用性の判断を容易に、かつ正確になし得るようになるからである。

4、既に裁判員裁判が実施されて3年以上を経過している。速やかに取り調べの全過程の録画を行うことで、取り調べの可視化を実現しなければならない。

3、密室での取り調べに伴って発生する、捜査官の暴行・脅迫・利益誘導などによる、自白強要や虚偽自白とともに、えん罪を防止す

平成25年9月27日

山梨県笛吹市議会議長
前島 敏彦

衆議院議長殿

参議院議長殿

内閣総理大臣殿

法務大臣殿

代表質問

9月定例議会では、5会派を代表して5人の議員が代表質問に立ち、16項目について市当局の考えをたどしました。

以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

笛新会	海野利比古議員	...9
笛政クラブ	大久保俊雄議員	...10
誠和会	梶原 清議員	...12
公明党	渡辺 清美議員	...13
日本共産党	亀山 和子議員	...14



笛新会

海野利比古議員

問 市の財政展望は

海野利比古議員 財政状況と今後の行財政運営は。

- (1) 21年度作成の10年間の財政シミュレーションの検証は。
- (2) 24年度決算の評価は。
- (3) 安定した市政継続のため、今後10年間の財政計画を明示せ。
- (4) 教育施設の老朽化対策は。
- (1) 市内19カ所の小・中学校の建築時期と耐用年数は。
- (2) 将来の小学校統合を視野に入れた整備計画は。

答 健全財政の堅持に努め課題に取り組む

倉嶋清次市長

(1) 市の財政計画は毎年検証のうえ見直ししている。21年度末に公表した長期財政計画は、国の経済対策や子ども手当制度の導入等があり、年度ごとに決算数値を当てはめると大幅にズレを生じている。

反面、計画以上に基金を積み立てられ、市債発行額も計画以内に抑えられているので、財政運営は、良い状況にあるものと認識している。(2) 大型プロジェクトの中止等異例な年度だったが、実質単年度収支は黒字を計上し、財政調整基金へ3億1千万円を積み立てられた。財政の健全化に最低限のノルマは果たせたと評価している。(3) 来年3月に策定公表を予定している第3次行財政改革大綱で35年度までの長期推計を示す。

- (1) 30年代建築が2校、40年代が5校、50年代が10校、平成が2校。一般に50年から60年が耐用年数だが、耐震化や改修により老朽化の度合いはさまざま。
- (2) 公共施設白書作成のため、調査・分析している。それを踏まえ、長期的展望を立て整備する。

問

基幹産業・観光と農業の振興策は

海野議員

笛吹ブランドの確立は。

- (1) 日本一の生産量を誇るモモ・ブドウの消費拡大策は。
- (2) 「日本一桃源郷宣言」を世界に発信する方策は。
- (3) 日本一桃源郷にふさわしいまちづくりの具体策は。

国民文化祭を一過性のものにしない取り組みは。

- (1) 石和鶉飼の開催状況と国民文化祭での取り組みは。
- (2) 現代詩の祭典、文芸祭俳句大会の作品応募状況は。
- (3) 鶉飼の文化的・歴史的価値を高めて生かす方策は。
- (4) 小中学生俳句会的一般への拡大を。俳句、文化活動を活かした施策は。

- (1) 30年代建築が2校、40年代が5校、50年代が10校、平成が2校。一般に50年から60年が耐用年数だが、耐震化や改修により老朽化の度合いはさまざま。
- (2) 公共施設白書作成のため、調査・分析している。それを踏まえ、長期的展望を立て整備する。

答

さまざまに仕掛けを考える

倉嶋市長

(1) 「美味しさも日本一」を強調し、産地間競争に勝ち抜けるよう宣伝等に努める。

(2) スマートフォンなどの技術を活用し、ピンク一色に染まる風景を発信するなど、検討を重ねている。

(3) 「笛吹川と生きる・笛吹川を生かす。」「笛」や「笛吹」の言葉からイメージを広げ、歌舞音曲をまちづくりに生かす。

(1) 夏休み親子鶉飼学習会の開催等で、来場者は昨年より3割増

(2) 現代詩は約6千5百篇、過去10年間で最高。俳句は昨年の京都大会を超える約2万6千句の応募があった。(3) 通年の発信・紹介、飼育施設の移転整備も検討。

(4) 蛇笏・龍太父子の地元として俳句の聖地を目指し、じつくり育成に取り組みたい。(1) 八代ふるさと公園と花鳥山が絶好のポイント。新たな場所は整備状況に応じて検討する。

(2) 本市がビューポイントの独壇場。知恵を出したい。(1) 富士山五合目、また河口湖畔、富士急ハイランド等においても、市の魅力をPRしたい。

(2) 芦川町そして市の中心部にも足を運んでもらえるよう魅力を伝える仕組みを検討している。(3) 富士山から石和温泉までのマップ、ポスター、のぼり旗を作成。富士北麓と結び特急バスを運行。

(1) 笛吹市観光の中核的機能をなすが、旧7町村の協会の連合体の色彩が強く、組織体制が弱い。(2) 業務の活発化には、一般

社団法人として独立採算で運営できるよう、見直しの必要性がある。

問 地域分権制度の導入検討は

海野議員 自治会加入率の状況は。地域審議会は目的を達成できたのか。

自治会加入率の伸び悩み地域審議会の解散期限を踏まえた、地域自治の将来像は

答 住民の主体性を生かす

倉嶋市長 現在は約83% 転入者等の未加入でやや減少傾向にある。

総合計画の基本構想についての答申を始め、市政推進に重要な役割を果たしている。

住民が自主性をもった自治運営が望ましい。コミュニティのあり方について研究していく。

問 ゲリラ豪雨対策は

海野議員 洪水ハザードマップのゲリラ豪雨に対する想定は。

がけ崩れや地滑り等の危険個所の把握と対策は。低地への浸水や冠水の危険は。

水防対策の見直しは。河川整備が遅れている個所の再点検は。

答 危機感を持って対処

倉嶋市長 現在のハザードマップは、時間雨量100ミリといった豪雨には対応できていない。各地でゲリラ豪雨が頻発している。早急に調査を実施し浸水想定区域を見直す等々の対策を講じる必要がある。実際に現場に足を運び危機感を持つて対処していく。



笛政クラブ

大久保俊雄 議員

問 倉嶋市政1年、方針を問う

大久保俊雄議員 24年度決算の分析と財政見直し、市長の施政方針を伺う。

財政健全化法に基づく4指標の推移は。

自主財源確保の取り組み、懸案の税・料金の収納状況は、各種事業評価の評価・分析・

課題をどのように26年度予算に反映させていくのか。開かれた住民参加制度の必要性、市長の認識は。

今後は行政の量的削減から質的充実、効率性が求められる。市長のグランドデザインは。

答 パートナーシップのまちづくり

倉嶋市長 市の財政規模に対し、一般会計が負担する借入返済額等の割合を示す「実質公債費比率」は前年より0.3ポイント上昇し14.2%。「将来負担比率」は10.1ポイント下がり75.7%。赤字決算ではないので、実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」は対象外。

市税の現年度徴収率は96.4%、19年度より2.2ポイント上がり、料金徴収率もおおむね上昇している。滞納整理の強化徹底によるものと考えている。

施策評価を行い、26年度の経営方針を決める。限られた予算を施策毎に配分、さらに施策内で事務事業の優先度に基づき予算配分する。地域振興促進助成事業等を実施している。新たな試みとして、出前学習会を準備・計画している。

26年度の予算編成の中で、できる限り踏み込んで提示したい。



問 公平・公正・透明性 高い入札制度は

大久保議員 市民から不信感を持たれない入札方法と公平性を保つ具体策は。

工事請負契約の落札率は、昨年度との違いは。

入札不調、不成立、協議随意契約、入札取り止め、公告内容変更などの件数と原因は。

公平性・合法性を担保する協議・決定方法は。

答 適正な基準を設け 公開で執行する

倉嶋市長 入札制度に対する基本的な考えとして、地元企業への優先的な配慮、競争性の確保、技術力の確保の3点を重視している。

予定価格の適正な設定と事後公表、一般競争入札、総合評価落札方式の導入、発注見通しと入札契約事項の公表。地元業者の受注機会を確保する努力。

23年12月から24年7月は83・7%。24年12月から25年7月は84・9%。1・2%の上昇。事後公表にした。

入札不調が2件、不成立6件、協議随意契約3件、入札取り止め6件、公告内容変更2件。

事後公表の導入で入札価格が予定価格を上回るケース、最低入札参加数に満たないケース、入札当日の辞退等が原因。

入札参加資格審査委員会で案件ごとに審議し公告。入札当日は落札候補者、入札額、予定価格、最低制限価格を公表し、後日、見積書等の審査を行い落札者を決定している。開札は公開で執行している。

問 バイオマスセンターの今後 の方向性・具体的考えは

大久保議員 凍結の公約から規模を縮小しての建設に方向転換したようだが、十分な説明が必要だ。

計画中の境川ごみ処理施設との関連性は。

処理能力、収集対象範囲の費用対効果は。

限られた時間・資料の下、建設事業検討委員会での十分な議論は可能なのか。

建設予定地の地元住民、関係区、地権者への説明と意見聴取は。

答 議論を尽くして 判断

倉嶋市長 検討委員会の具申を得て判断する。決定内容はしっかり説明する。

境川の施設は関係4市のごみ搬出量に合わせ計画されている。バイオマスセンターが建設中止でも処理能力に余裕があり、本市の生ごみ焼却は可能。

年間処理能力1、400トン、収集範囲は笛吹川右岸地域、処理費は1トン当たり9、900円、維持管理費2、388万円。境川処理施設での焼却と比較すると、建設後20年間、年3、600万円の負担となる。議論を尽くし市民の同意を得ながら進める。

凍結後、1月、2月に砂原・増田地区で説明会を実施。6カ月以内に結論を出すことを示した。

答 市内産業の 具体的振興策は

大久保議員 基幹産業である観光と農業の活性化策は。就任して1年、具体策、各論を示す時期だ。

夏祭り、各種イベントの総括、課題は。

猛暑による果樹生産の大幅減等に対する支援は。

資源を生かした通年型観光地づくり、地域情報・イベントのタイムリーな発信交流機会創出イベント、農業基盤整備は。

問 農業ビジョン 立案を検討

倉嶋市長 「笛吹農業ビジョン」を立案し、6次産業化、特産品開発、クラインガルテン、グリーンツーリズムなど新たな方向性を盛り込みたい。

現行の34の観光アクションプランの中から、緊急的・効果的な施策を重点的に実施していく。スポーツ・健康と関連つけた誘客も模索したい。

鶉飼を始め、甲斐いちの

みや大文字焼き、石和温泉花火大会に昨年を上回る来場者があった。福知山の爆発事故等を受け、安全対策に努めた。今後も、フェンス設置など安全確保策に取り組む。

融資制度等について、商工関係機関と協議する。商工会女性部が笛吹高校とコラボし、「バラの花びらのジヤム」を発表した。特産品開発には支援を検討したい。果実が終わった後の誘客の目玉が必要。文化財のグールドアップによる観光スポット化、峡東3市との連携強化などに努めたい。

10名のサポーターを募集、市ホームページで写真とコメントによるPRを実施。スマホの活用も検討中。

都市住民を招いた運動会や収穫体験、大きなイベント等の経験を生かし、集客できるイベントや収穫祭などを検討する。

土地改良事業により水の安定供給が図られてきた。山間地などの基盤整備にも取り組む。

代表質問



誠和会

梶原 清 議員

問 中期財政計画は

梶原清議員

総合計画の

後期計画で実施を見込んで
いる事業の概要は。

普通建設事業費が大幅減
額されているが、扶助費や
物件費の減額は。

都市計画税を27年度に予
定どおり実施するののか。

答 行財政改革に
努める

倉嶋市長

砂原橋架け替え

大坪地区の浸水対策、スマ
ートインターチェンジ付近
の道路整備、成田交差点周
辺道路整備、橋梁の長寿命
化事業等に33億4千万円。

石和温泉駅周辺整備、サイ
ン計画など都市計画事業に

14億8千万円。農業基盤整
備事業に25億9千万円。教
育施設関連に19億3千万円

4市のごみ処理施設建設負

事業の実施は。

八千蔵・高家地区の基本
協定の内容は。

八千蔵・高家地区の基本
協定の内容は。ストックヤードの許可状
況は。八千蔵・高家地区の進捗
状況は。

答 用地の96%は
買収済み

倉嶋市長

振興事業として

施設に隣接する公園緑地、
温泉施設の建設を計画。県
市町村総合事務組合、ごみ
処理施設事務組合と協力し
て基本設計等を進めている。

周辺整備として、公民館建
設の測量や防火水槽の改修
市道整備の測量設計を行っ
ている。地権者41人中37人
と契約済み。面積では96%
を取得。

公園、温泉の他、集荷場
消防詰所、運動場、リサイ
クルステーション、間門川
改修等が主な事業。国の交
付金等を最大限活用し事業
推進を図りたい。

関係4市が構成する対策
協議会を設置し検討する。

7月、県知事から事業認
定は困難であり、土地収用

法第3条の事業用途を基本
とした整備内容の検討が必
要との回答があった。

知事回答を踏まえ、対策
協議会が再検討している。

問 御坂浄水場
建設事業は

梶原議員

計画水量の余
剰分の利用は。

土木・建設工事の予定価
格が2回変更、増額された
理由は。

3月19日予定の「機械・
電気」入札が取り止めとな
った。同日の「土木」は1
社の応札だった。違いは。
再公告で同じ会社が入札
できるのか。

工期に余裕がない中、土
木と建築、機械と電気をそ
れぞれ分割し再公告した理
由は。

機械と電気の工期は26年
8月25日。全員協議会にお
ける、年度末までの完成の
回答とは異なる。理由は。

答 石和・一宮にも給水

倉嶋市長

計画給水量は

日量7、300トン、御坂地

域へは5、000トンの給水
を見込んでいる。残り2、
300トンは石和・一宮地域
に給水する予定。送水管8・
5キロメートルを敷設する
予定で経費は6億5千万円
年度内完成を確実にする
ため分割したが、土木工事
は残土処理が要因で不調。

処理費を設計に組み入れた。
落札の結果、初回事前公告
をベースにすると、3、
500万円の増額となった。

機械・電気工事は、同等
施設の施工実績を入札参加
要件としたが、調査不足で
該当するのは3社と少なく
取り止めた。要件を緩和し
7社が参加できるようにし
て再公告した。

同一業者の参加について
市の実施要領に規制はない。
入札は可能。

土木・建築は、年度内完
成が必須条件となった国の
緊急経済対策に対応、補助
対象として安全を期して分
離した。

機械・電気は、要件緩和
を図り対象者を確保。併せ
て分離発注による地域業者
の電気設備工事の受注機会

確保を狙った。

機械・電気は25年度国庫補助分であり、26年度への繰越が可能。

問 小中学校施設の在り方は

梶原議員 全国的な少子化傾向と同様、笛吹市の児童生徒数も減少することが予想される。小中学校の校舎等の老朽化が目立ち、安全・安心な学校生活を指す上で喫緊に取り組まねばならない現状だ。合併特例債が5年間延長された。校舎建て替えなど、総合的に考える良い機会だ。市長の所見を伺う。

答 中長期的に整備を考える

倉嶋市長 5年後、小中学校とも約200人減少すると推計されている。30年以上経過した施設が多い。修繕費用は年々増加している。中長期的な整備計画が必要。学区再編や統廃合など、多くの課題がある。市民とともに適正配置、整備計画を検討していきたい。



公明党

渡辺清美 議員

問 災害時要援護者の避難対策は

渡辺清美議員 災害時に自力で避難することが難しいお年寄りや障害者など、災害時要援護者の名簿作成を市町村に義務付ける改正災害対策基本法が成立した。

東日本大震災で、避難生活が長期化するにつれ心身の健康が損なわれるなどの課題があったことを踏まえ、避難所の生活環境の整備、心身の障害等の事情により入所できない在宅被災者にも避難所同様の支援が受けられるような配慮が必要だ。本市の体制は十分なのか伺う。

答 民間福祉施設とも協定し援護

倉嶋市長 市には指定避難所が35カ所あるが、一般避難者と要援護者がここで共同生活することは大きな

ストレスとなる。福祉避難所を8カ所設置し、備品類を用意し訓練も行っている。また市内23カ所の民間福祉施設と受け入れの協定を結んでいる。9月にもいくつかの施設と協定締結の予定。

避難所に入所できない要援護者の生活支援は、安否確認、情報伝達、物資搬送など関係する部局、自主防災組織、民生委員などと協働で取り組みたい。

問 いじめ防止対策推進法の制定を受け

渡辺議員 国が取り組みを本格化させてから初となる法律、いじめ防止対策推進法が6月21日に成立、9月28日に施行される。

本法律ではいじめの定義を対象にされた児童・生徒が

心身の苦痛を感じているものと規定している。重大な被害を及ぼす恐れがある場合は直ちに警察に通報することを明記し、必要に応じて加害者の子どもにも出席停止を命ずることを求めている。

同法は今後、文科省が定める基本方針に沿って、各地方自治体が地域のいじめ防止基本方針の策定に努めることを勧めている。本市における取り組みについて伺う。

答 地域総ぐるみで対応

教育長 大人が地域社会総ぐるみで、いじめはぜったい許さない、いじめは卑怯な行いである、どこの学校でも起こりえるとの認識を持ち、それぞれの役割と責任を自覚し行動しなければならぬ。

国・県レベルの動向を注視し取り組む。幸い本市にはすでに、警察や児童相談所保護司会、民生児童委員会、少年補導連絡協議会などと協力した生徒指導連絡協議会や自立支援運営協議会が

ある。これらの組織を充実させ、定期的に課題への対応を考えていきたい。

問 受動喫煙防止対策は

渡辺議員 厚生労働省によると、喫煙によって年間約13万人が死亡し、受動喫煙で6、800人が亡くなっている。受動喫煙の防止は平成15年施行の健康増進法で定められた。多くの施設で禁煙・分煙が進んだことは評価できる。この流れをもう一步進めるため、改正労働安全衛生法では、職場での全面禁煙や空間分煙、飲食店などには換気の措置を義務付けた。昨年6月の「がん対策推進基本計画」でも職場での受動喫煙防止の遅れを指摘している。全面禁煙か喫煙室以外禁煙の措置を講じている事業者は、いまだに64%にとどまっている。本市の対策について伺う。

答 多方面から取り組む

倉嶋市長 市は合併時より公共施設内での全面禁煙、



喫煙可能箇所の限定を実施し、受動喫煙の防止に努めてきた。20年度から禁煙教室を実施し、82人が受講し18人が禁煙できた。母子健康手帳交付時の調査・面接時に、本人や同居家族の喫煙の状況把

握し、禁煙を勧めるとともに、出産後の乳幼児健診時等に継続して指導している。

今後は市の健康づくり推進協議会で防止策を検討いただき、多方面からの禁煙・分煙の対策に努めたい。

日本共産党

亀山和子議員



問 憲法を暮らし、教育に生かすには

亀山和子議員 7月の参議院選挙では、憲法が争点の1つになった。安部政権は憲法改正のハードルを低めようと、96条の改悪を狙っている。その先に9条改悪があることは、国防軍を持つという自民党の憲法改訂草案を見ても明らかだ。しかし、世論調査では国民のおよそ60%が憲法9条を変えないことに反対している。

憲法についてはさまざま議論があるが、暮らしの中にどのようになかされて

代表質問

憲法の理念にはほど遠い。憲法を暮らしに生かすという視点から首長としてなにをなすべきか、なにができるかと考えるか何う。

憲法26条に国民が教育を受ける権利が規定されている。26条に基づき昭和22年、教育基本法が作られた。平成18年の改定は憲法を尊重したものと考えるか、市長の認識は。

子どもの時代から憲法を学ぶことが大切だ。主権者として生きること、差別されず個人として尊重されることを学ぶことは、いじめたりいじめられたりしないこと、体罰を受けないことにつながる。笛吹市における子どもの生活実態に即した憲法教育、平和教育の現状は。

答 日々点検し市政に当たる

倉嶋市長 憲法9条は忌まわしい戦争への痛切な反省に立って、憲法に盛り込まれたと考えている。人類史的にみても先駆的な内容を有している。「国権の発

動たる戦争と武力による威嚇または行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する」は、人類の理想を高らかに謳い上げたものであり、わが国外交が理想とすべき原則を述べていると考える。

世界の現状は理想からはほど遠いが、先駆的で高邁な理想を捨てるべきでないと考えている。

わが国では、ヨーロッパなどと比べて地域を治める組織は、藩や国家の末端組織といった色彩が強かった。憲法上地方自治を明記することは、歴史上画期的なことだと考える。

憲法の第3章、国民の権利および義務として、第10条から40条まで、全条文の約3割がこの分野に当てられている。基本的人権の侵害はないか、幸福追求の権利は保障されているか、差別はないか、公務員は全体の奉仕者として努めているか、教育を受ける権利は保障されているか、健康で文化的な最低限度の生活が保障されているか等々、日々点検

する必要があると考えている。教育基本法の改正で、人格の形成、個人の尊厳に加え、新たに公共の精神、伝統と文化の尊重、生涯学習社会の実現、障害者への支援、家庭教育の充実、幼児期の教育、教育振興基本計画の策定等が盛り込まれた。基本法の前文には憲法の精神に則るとあり、この点を踏まえるなら全体としては憲法を尊重しているものと認識している。

憲法は小学校6年の社会科、中学校社会科公民的分野において学習している。

平和教育の現状は、中学校とともに社会科の歴史学習で「戦争から平和への歩み」を学習している。総合学習の時間を活用した「わが町の8月15日展」や「甲府空襲展」の見学等、いろいろな機会を捉え、子どもたち一人ひとりに平和について深く考えさせようとしている。平和教育を広く解釈し、環境教育や人権教育、いじめ防止の教育、差別のない学校づくりにも取り組んでいる。

9月
定例議会

市民の声

一般質問

9月定例議会では、10人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたどりました。以下は質問と答弁を要約したものです。



一般質問

問 スポーツを楽しめる環境づくりは

答 既存施設の効率活用で事業充実



保坂利定議員
(笛新会)

保坂利定議員 ニーズの多様化で、スポーツを軸に施策展開を図り、連携できる地域づくりを行う重要な手段・方法として、スポーツ振興が目される。既存施設（屋外）の有効利用を促進し、課題を解決しながら市民の利用しやすいスポーツ環境の整備が必要だ。

既存施設は、市民ニーズに添えているか。課題は。

スポーツは健康づくりに期待される。市の施設は対応可能か。

市民の具体的な要望と対応は。新たな施設整備の必要性は。

市民ニーズに添える施設整備計画策定の必要性和スポーツ公園建設は。倉嶋市長 スポーツ環境整備は優先度の高い課題だ。芝生のサッカー場をプレゼントしたい思いは強い。総合運動公園の整備は合併以来の懸案

で、財政の行方や財政計画を考え検討していきたい。

堀内教育部長 県内の他市と比較し、陸上競技場や芝生のグラウンドは未整備で、市内の運動施設は各施設とも老朽化が著しく、新しい施設の検討まで手が回らないことが課題。

市の持つ多彩な資源と融合し、新たな産業・観光づくりに大きな可能性を生み出すことが期待できる。既存施設の効率活用で、事業の充実を図っていくことが大切と考えている。

市内のスポーツ団体から、新しい屋外施設や総合スポーツ公園の建設、既存施設の整備への取り組みなどについて要望がある。今後は新たな施設整備も検討していきたい。

誰もが身近にスポーツを楽しむことができるようソフト面を促進し振興を図るとともに、施設整備も検討する。

今後、屋外施設を有する自治体の状況を調査し、既存施設の特長を生かした活用や、屋外施設の整備を含め多方面から検討し、必要に応じて市民の声を聞き取り組んでいきたい。

問 八千蔵・高家地区
土地活用開発計画問題は

答 地域の意に沿う土地活用進める



神宮司正人議員
(笛新会)

活用・運用方法と中長期財政計画の整合性は。

答 市民とともに検討して
いく大きな課題

神宮司正人議員 20年近くなんの進展もなく推移している。協議の方向性と見通しは。
災害時廃棄物ストックヤード構想の土地活用は。
土地買収は境川ごみ処理施設と並行して行う約束だが、どうするのか
芦澤経営政策部長 事業推進を目指すし、県知事に要望書を提出したが、整備計画事業認定は困難との回答で、再検討を余儀なくされた。

八千蔵地域等対策協議会で共同利用できる施設としての検討を重ねている。地域の意に沿えるよう土地活用について努力していきたい。

問 公共施設白書の
進捗状況は

神宮司議員 公共施設白書はいつ完成し、納品になるのか。

荻原総務部長 今回173施設を対象に、市の財政状況や人口動態等の基礎資料の収集と分析を行い、維持管理費等の財務情報、老朽化や耐震性能などの品質情報、利用状況など供給情報等の調査を実施する。この調査結果を基に、施設の現状分析と課題の取りまとめを行い、今後の取り組み方法を協議し、10月中旬に完成予定となっている。
公共施設サービスを将来に渡り持続可能にするため、公共施設白書を基礎資料に、適正な施設配置と効率的な管理運営に向けた具体的計画の策定を進めていきたい。
白書は施設の現状を示したものを、それを基に施設の適正配置、統廃合等の議論・検討を行うことになる。
施設の統廃合で維持管理費等の経費は当然減少するが、結論が出るまでには、相当な期間が必要になる。

問 ふるさと納税制度は

答 市のPRができるよう進めたい



古屋始芳議員
(誠和会)

古屋始芳議員 平成20年に公布されたふるさと納税制度は、どの程度理解されているか疑問だ。
制度発足後からの寄付金状況は。

寄付金の活用状況は。

寄付者に対するお礼などの対応は

芦澤経営政策部長 24年度までの5年間で累計件数65件、約565万円、1年平均では13件、約113万円。寄附件数では24年度の16件、寄附金額では22年度の約210万円が最高。

寄附金の使途について産業・観光・青少年育成・市民協働の4事業より指定していただき、該当事業の予算に充当されている。

寄附者全員に市長直筆署名によるお礼文を送付。寄附金額5万円以上の方に、桃・ぶどう・柿等の季節の果物、5万円未満の方に笛吹市産ぶ

どう100%原料のオリジナルワイン(赤・白セット)を送付。今後は制度の検証を行い、市をPRできる制度となるよう進めていきたい。

問 市費負担講師等の
配置状況と成果は

古屋議員 学校現場では少しでも多くの教職員配置を望んでおり、市独自の教職員も配置している。
配置数と他市町村との比較は。
配置したことによる成果は。
保護者や学校の感想等は。

答 高い水準で配置している

堀内教育部長 小中学校18校に1人ずつ18人、学校サポーターは小学校9校に対し14人、合計32人を配置。周辺自治体の中でも比較的高い水準。子どもにとっては安心した環境の中、落ち着いて授業を受けられるようになつてきている。

保護者から高い評価を受け、学校からは引き続き配置の要望がある。

問 地域包括ケアシステムの構築は

答 関係機関と連携し体制をつくる



志村直毅議員
(笛政クラブ)

志村直毅議員 2030年の市の推計人口は約6万1千人、高齢化率34%、3人に1人が高齢者の時代が来る。高齢者福祉計画の重点施策の取り組み状況は。

地域包括ケア体制構築における関係機関との連携状況、今後の課題は。まちづくり・地域づくりの視点でとらえ、地域包括支援センターと市民の役割をどう考えるのか。

山下保健福祉部長 高齢者徘徊SOSネットの構築、虐待防止の体制づくり、認知症サポーター養成事業や、健全な介護保険事業の運営に努めていく。

医師会との勉強会、介護保険事業者連絡会、民生委員会等に積極的に参加し意見交換等を図っている。

センター体制の充実とともに、地域での課題解決の取り組みが重要。

問 入札の公平性等は確保されているか

答 確保され適正執行がされている



渡辺正秀議員
(日本共産党)

渡辺正秀議員 予定価格1億円以上の入札8件中、7件が98%超である。この結果の競争性確保は。

調査する考えはあるか。入札方法を再検討する考えは。

また、少額の入札は90%以下だが、落札結果をどう考えるか。

公契約条例制定の考えは。

荻原総務部長 事後審査型一般競争入札で執行。資格審査委員会を要件を審査し入札公告を行う。公表時点で応札対象業者による競争性が保たれ、適正執行されている。

積算基礎は国・県などが一部公表。審査結果の再調査は考えていない。

実情に合った公平・公正な入札執行と入札契約の過程の透明性が確保された入札制度を検討する。

国の低入札価格調査基準を参考にし、最低制限価格を設定。

問 松枯れ対策と提案

答 松枯れ対策も有効な対策

条例を制定した自治体の実施状況や国・県の動向を注視したい。

問 松枯れ対策と提案

渡辺議員 対策は被害木の伐採・処理だが、年間の費用は。里山の松林の保全は可能か。

樹種転換の必要性は。木材の活用など総合的対策は。

事業者等の協議会設立を提案する。

答 樹種転換も有効な対策

風間産業観光部長 24年度事業費実績は約940万円、薬剤処理と燻蒸処理、樹幹注入処理で22年度は約950万円、23年度は約1千万円。

松枯れのすべてを処理できないが、景観上必要な松は樹幹注入で保全。

被害木を伐採し、樹種転換も含め事業を検討する。

松材の単独活用は採算性等から不可能。総合的対策が必要と考える。

関係者の意見を聞き、準備が整い次第協議会設立を検討する。

問 アベノミクスと地方活性化は

答 市の観光客増加にも期待



中川秀哉議員
(公明党)

中川秀哉議員 大胆な金融緩和で株

高・円高が進み、企業業績が急回復しているが、上場企業中心で中小企業の現状は厳しい。地方経済の担い手である中小企業が活気づけば、景気回復の恩恵をもたらす。

来年度予算編成に向け、地域特性を踏まえ、市民生活に根差した取り組みと施策展開を期待する。

市は景気の動向、実態についてどのように認識しているか。

アベノミクスの進展で、市の財政運営にどのような影響があるか。

インフラ老朽化対策の現状と、今後の展開は。

産業振興策、特に中小企業に対する振興・支援策は。

女性や若者、高齢者活用の市の取り組みは。

芦澤経営政策部長 アベノミクス

の進展で景気好転の期待感が高まり、一部に回復基調の動きが見られる。富士山の世界遺産登録で山梨県が注目を浴び、市への観光客増加も期待される。安倍政権は昨年12月に発足、回復動向が明らかになるのは来年度以降と思われる。

景気回復で中小企業・個人事業者が活気づくことは市政発展の原動力で、経済対策の成功を期待する。しかし、市税の上昇が見込めても多くの国からの地方交付税に依存し、国の財政状態や施策動向に大きく左右され、現在のところ不透明と言える。

市道橋梁は長寿命化基本計画・修繕計画を策定し、順次、補強・補修の取り組みを進めていく。道路等も現状調査し修繕計画を進める。

信用保証協会等の関係機関と検討しており、国や県にその支援を要望することも並行して進めている。

女性や若者向けに就職ガイダンスの開催など就職機会を増やし、高齢者にはシルバー人材センターへの登録を促す。

川村恵子議員 保育の適正規模とされる40人を基準に、71人を超える学童保育クラブを分割するよう、補助金制度の見直しが行われた。



川村恵子議員
(公明党)

問 学童保育の状況は

答 一丁ズ調査を実施

川村恵子議員 保育の適正規模と

される40人を基準に、71人を超える学童保育クラブを分割するよう、補助金制度の見直しが行われた。

定員超の学童保育クラブの状況は、大規模学童保育クラブの分割は、6年生まで学年延長の考えは。

山下保健福祉部長 市内10カ所17クラブで運営している。

4クラブが定員超で、学童出席率は約80%、平均70人以下で運営。

空きスペースや指導員の確保が難しく、現状では困難。

保護者の意向を調査し検討する。

問 ジェネリック医薬品
利用促進は

川村議員 国保でのジェネリック

医薬品利用促進の取り組みは。医療費削減効果は。

数量シェア60%以上のロードマップが示された。今後の取り組みは。

答 自己負担の軽減が
図られる

前田市民環境部長 市広報の中で医療費の削減や、収納率向上の記事と併せて掲載。のぼり旗を公共施設へ設置、新保険証発行時にはジェネリック医薬品希望カードを挿入し、全被保険者へ配布した。

毎年上昇する医療費など、保険事業の状況を踏まえ、国民健康保険健全化計画により医療費の適正化事業を進めている。ジェネリック医薬品の普及啓発なども重要施策の一つで、価格が新薬に比べると3割程度安価なので、医療費の削減や被保険者の自己負担の軽減が図られる。

厚生労働省では、数量シェアを30%まで向上させるため、各医療保険者への努力義務と、目標に到達しない状況を踏まえ、算定方法を変更し、5年後の目標を60%とした。今後も関係機関と連携し、継続してPRし医療費の削減に努めていきたい。

問 渋川排水機改修の見通しは

答 財源確保を含め早急に対応



荻野謙一議員
(笛新会)

荻野謙一議員 渋川排水機は稼働開始後50年が経過、老朽化が進む。富士見地域の水害を食い止める唯一の災害防止設備だ。
更新に向けた請願を受け、調査や対策をしたのか、進行状況は。
行政施策の位置づけと、今後の対応策はあるのか。

斉藤建設部長 渋川排水機の更新事業の実現を求める請願が市議会で採択されたが、市単独での排水機の更新は負担が大きいため、河川管理者である山梨県と協議・要望を重ね、補助制度の活用を含め検討している。
本市の施策のうち「災害に強い安全な備えづくり」を重要課題として位置付けている。今後は、さらに山梨県と協議を進め、財源確保を含め早急に対応していきたい。

問 空き家対策と制度導入は

荻野議員 空き家問題は市街地、農山村部でも深刻な状況で、倒壊や治安・景観の悪化、不動産価値低下など、周辺環境に多大な悪影響がある。市の空き家状況、調査・対策は。
空き家活用(二地域住居、定住人口拡大、UJエターの推進)は。
空き家バンク制度の導入は。
空き家対策継続・強化の考えは。

答 制度のあり方検討し取り組む

芦澤経営政策部長 市の空き家は6、530戸、20年3月に芦川地区で空き家提供の意向調査を行った。定住人口の増加、二地域居住による都市住民との交流機会の創出、新規就農者対策などの手段になる。
県で支援センターを開設しているが、市の空き家バンク制度を検討し、実施に向けて取り組みを進める。
施策の推進と空き家の活用を連携させ、取り組んでいきたい。

問 バイオマスセンター事業検証は

答 検討会開催し最終判断



北嶋恒男議員
(笛新会)

北嶋恒男議員 生ごみ分別排出率35%、年間1、400トンの数字根拠、生ごみ収集量を上げる対応は。
財政負担とならないか。高効率発電施設稼働、コンクリート資源材など焼却の効用はある。市の考えは。
立地場所の水害、防災対策をどうクリアするのか。
センター建設費6億3千万円の試算精度は信頼できるか。

委員会の市長答申後のプロセスは。
風間産業観光部長 家庭から出る可燃ごみの量約4千トン、生ごみ分別収集実証試験での収集実績35%から算出。意識啓発や分別収集方法の説明など地域に向いて行う。
桃・ぶどうなど、笛吹市ブランドの確立と、農業振興に寄与することができると考える。
クリーンセンター敷地の高さを造

成時の高さ想定し、約2mの盛り土をする予定。
維持費は関係機関の資料を基に算出、堆肥販売の金額等は視察研修地の金額を参考。未確定部分もあり精度の信頼性は強調できない。
今後数回の検討会を開催し、市長へ具申を行い判断する。

問 境川ごみ処理場とまちづくりは

北嶋議員 施設は県下一の広さで甲府盆地が一望でき、眺望・農村景観・歴史的町並みなど、魅力を大いに発見できる。まちづくりの創造は。

答 積極的にまちづくりを行う

前田市民環境部長 ごみの削減は住民が最も身近に協力できるエコ活動で、循環型社会の実現は急務である。温泉施設は環境教育や地域住民と都市間交流ができ、市民多くの憩いと地元経済活動が可能なものになる。
良好な環境改善社会を創るよう、積極的にまちづくりを行いたい。

問 農業被害状況とブランドPRは

答 地域活性化と農業振興を図る



中村正彦議員
(誠和会)

る消費拡大宣伝を実施。旭川市で富士山から30分の笛吹市の観光宣伝と日本一桃源郷の桃の消費拡大宣伝を実施。笛吹ブランドを確立し、各地域の活性化・農業振興を図りたい。

問 指定管理者制度の現状は

中村議員 指定管理者制度(文化館・温泉施設・グラウンド・体育館など)の現状は。

- 各施設の利用状況は。
- 各施設の収支は。
- 各施設の利用体系は。
- 各施設の修繕費(10万円以上)は。
- 各施設のモニタリングは。

答 サービス向上で利用者増

荻原総務部長 各施設とも指定管理者導入後、利用人数が増加。19施設合計で3千万円余減少し、経費削減が図られている。種別施設で統一的に行われている。43件合計で約2千万円余。必要に応じ管理業務の改善を指導。

中村正彦議員 農業全般の総括と、異常気象による被害状況、来年度に向けての笛吹ブランドのPR戦略は。異常気象による被害状況はどうか。被害農家の支援策を考えているか。笛吹ブランドの今後と、セールスPRの展開は。

風間産業観光部長 8月中旬時点の桃出荷量は前年の8割、生産額は前年比9割だが、単価は前年を1割上回った。JAから遅霜に続く高温や水不足など、品質の低下も心配されたと報告を受けた。

被害農家への薬剤補助、農業災害対策資金借入者には、JAふえふきと無利子化の補助金交付を決定。被害農家向けの農業被害対策資金特別融資を創設し、希望する農家に利子補填する支援策を決定した。

東京や関西でトップセールスによ

山梨県市議会議長会

議員合同研修会

平成25年8月9日(金)

平成25年度前期の山梨県市議会議長会議員合同研修が、8月9日、北杜市の八ヶ岳口イダルホテルで開催され、私たち笛吹市議会議員も参加しました。



講師は奈良県生駒市長・山

下真さんで、「地方分権に対応し得る奈良県生駒市から発信する新しいまちづくり」奈良県生駒市長の地方自治の哲学」と題して講演されました。

山下乡長は旧牧丘町の出身で、当選時は日本で最も若い市長として注目を集め、また、市民運動を母体として市長に当選したということ、脚光も浴びました。

講演では、この7年間に矢継ぎ早に打ち出した各種の施策を紹介され、それまでの市民不在の「ハコモノ」行政から、市民参加の制度改革行政へと大きく転換してきている様子を、歯切れのいい弁説で話されました。

時代が要請する地方行政の課題と果敢に戦う、山下生駒市長の姿に、私たち市議会議員は大いに鼓舞される講演でありました。

教育厚生常任委員会

甲府・峡東地域ごみ処理施設 現地視察研修（実施報告）

8月22日 木



教育厚生常任委員会では、甲府・峡東地域ごみ処理施設建設現地を視察した。総事業費304億円という巨費をかけ、平成29年3月完成目途に着工され1年経過していた。

あった。広い現場では30人以上にもなる発掘調査員の皆さまが、気温40度以上の炎天下と熱風の砂ほこりの中、真剣に作業に携わっていた。

文化財主事の説明と資料から分かったことは、この土地一帯からは旧石器時代から縄文時代や古墳時代、奈良時代の人々の住居跡が発見され、まさに一連の曾根丘陵地帯であったことでした。現在は畑や原野のようになっていますが、当時から災害に強い住みやすい場所であったと考えられ、現代の我々への貴重な教訓を与えてくれていると感じました。

この文化財調査が終われば、来年度からはいよいよ本格的に、工程通りあと3年間で山梨県と甲府・峡東4市の合同事業として、最新の技術の粋を集めた近代的なすばらしい環境センターが完成することになる。



笛吹市

議会だより

表紙写真を募集！

応募要項（抜粋）

笛吹市議会では市民の皆様により親しまれる議会だより作成を目指し、表紙を飾る写真を募集します。あなたの撮ったカラー写真で、表紙を飾ってみませんか！ご応募お待ちしております。

- 募集内容 笛吹市の「イベント」「自然」「伝統文化・芸能・行事」「街並み」など、本市の魅力を紹介でき、表紙にふさわしいものとします。（原則として一定の個人・団体等は除く）
- 応募規定 応募資格は、市内在住、勤務、在学にかかわらず、どなたでも可能です。撮影者自身に著作権のある未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。被写体となった人物、建物の管理者などに、応募することの許可を必ず得てください。応募作品の著作権は、本市議会に帰属し原則返却いたしませんのでご了承ください。
- 応募方法 住所 氏名（フリガナ）掲載に際して匿名を希望する場合はペンネームを併記
電話番号 撮影場所・年月日 作品名 市外在住の方は当市とのかかわりを記載してください。 写真又はデジタルデータ（メモリーカード）を添えてご提出ください。（USBメモリー及びFD・CDでのお持込みはご遠慮ください）
- お問い合わせ先・送付先 〒406 8555 笛吹市八代町南917番地 笛吹市役所八代庁舎 笛吹市議会事務局
TEL：055(265)2112 FAX：055(265)1101 Eメール gikai-jimu@city.fuefuki.lg.jp
詳しくは、市ホームページをご覧ください。か議会事務局までお問い合わせください。
ホームページアドレス <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>

総務 常任委員会

9月11日、13日、18、20

日までの5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正2件、一般会計補正予算1件、決算認定1件の計4件を審査し、賛成全員3件、賛成多数1件でいずれも原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。



完成した春日居国府コミュニティセンター

総務部所管

Q 事後審査適正執行の必要性がある。発注設計書と落札者の積算内容を比較し、極端な開きやばらつきなどの調査・確認を求める。

A 入札関係の会議で改善を図りたい。

経営政策部所管

Q 労務単価増額による補正は、25年度の発注・契約なら事業者も新単価で積算を行うべきではないか。

A 24年度設計が多く6月補正しなかったが、設計内容の再積算が必要となった。

「意見」

通知から期間も経過し、前年度の設計価格で施工可能であるとして応札しているが、疑問である。入札関係で財政所管部として適切な執行を市長に申し入れる。

Q コミュニティ助成事業の申請と採択件数は。

A 24年度は5地区が申請し2件を採択。コミュニティセンター助成は春日居の国府地区のみの申請で採択。市民環境部所管

Q 地域振興施設の運営管理や内容は。

A 財源確保のため市が事業主体となるが、事業開始前に県や事務組合、構成市等と十分議論し集約・確認していく。

Q 社会保障・税番号制度「マイナンバー」について、住民票コードとの関係は。

A 27年10月から通知カード送付予定。住基カードの新規発行は廃止。住民票コードは存続し、それをもとにマイナンバーが作成され、個人番号カードは申請により交付となる。

消防本部所管

Q 高速度道路救急出動に対する支弁金の算出根拠は。

A 救急1隊当たりの維持費用額、人口割係数、市内インターチェンジの数、前々年度の救急出動件数の係数など4項目を乗じ算定。

Q 資機材や物品購入は入札する考えは。

A 特殊なものが多く、見積りを徴するほか、競争入札も含め、区別をつけながら取り組んでいきたい。

教育 厚生 常任委員会

9月11日、13日、18、20日までの5日間、委員会を開催。

付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算4件、一般会計決算認定1件、特別会計決算認定4件の計11件を審査し、賛成全員でいずれも原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

保健福祉部所管

Q 災害時要援護者台帳システム整備事業の名簿作成の義務づけは。

A 災害対策基本法の改正が本年6月に成立。災害時は同意なしで外部に提供できる。提供先は消防や自主防災組織などの関係機関で、市では事前開示の方法・使われ方などは審議会、民生委員会、区長会などと協議し決めていきたい。

Q 27年度から変更になる子ども子育て支援事業計画策定のニーズ調査内容は。



改築工事が待たれる芦川小学校屋内運動場



A 景観計画による木造建築と、兜造りに配慮した設計による建設費の増加や、労務・資材等単価の値上がりによるもの。

Q 中学校学校教育事業で、選手等派遣費補助金補正額280万円の内容は。

A 全国大会に石和中陸上部関東大会に一宮中サッカー部など、延べ118人の選手が出場、成果を上げた。

建設 経済 常任委員会

Q 環境対策事業とは何か。
A 境川寺尾地区は、地域振興施設の温泉施設と観賞緑地的なもの、地区公民館道路、防火水槽、消防詰所等を整備する周辺整備事業の2本立て。

Q 負担割合は一緒か。
A 地域振興施設は県とゴミ処理組合が2分の1負担、教育委員会所管

Q 芦川小学校屋内運動場耐震改修工事の大幅補正の原因は。

給湯事業会計決算認定1件の区域の変更1件、指導廃止・認定2件の計34件を審査し、賛成全員33件、賛成多数1件でいずれも原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

Q 遊休農地解消活用推進事業の、市全体の遊休農地の状況は。

A 2010年の耕作放棄地の面積は171ヘクタール、遊休農地解消実績は23年度1町7反、24年度2町歩、今年度は約1町歩で、年度中に約2町歩を見込んでいる。「意見」

芦川グリーンロッジの浴槽設備などを充実し、宿泊施設として有効活用を。

Q 労働総務事業にかかわる就職ガイダンスの実績は。

A 参加企業19社、参加求職者数61人、うち内定者数2人。今後は、ハローワーク、労働基準監督署とも協議しながら事業を進めたい。

Q 建設部所管
笛吹市景観条例で市の

特色を生かした指導ができないか、罰則規定は。

A 上位法令や周辺自治体との整合性を考慮し条例を整備した。独自の指導・罰則規定も検討していきたい。

Q 地区要望の市道改修への対応状況は。

A 300件中150件、50%が対応済み。優先度の高い箇所から対応している。

公営企業部所管

Q 水道事業会計・原水および浄水費の委託料の、入札差金が多額な理由は。

A 予算執行に必要な設計金額を計上しているが、結果的に入札額が低いという状況である。

「意見」

適正な見積りと設計額の予算計上を望む。

Q 水道事業収益・地区簡易水道負担金の減は。

A リニア工事影響による御坂町竹居地区簡易水道の水源枯渇に伴い、供給が終了し不要額が生じた。

Q 使用料の臨時徴収員の人数と成果は。

A 水道・下水を含め2人で対応。24年度は4、368件を訪問し、直接813万円を徴収、後日納付で4、283万円の納付をいただいた。

「意見」

各種団体への補助金交付は、実績報告などの確認だけでなく、各団体の活動状況や事業内容を直接検分するなど、更なる精査を望む。



境川地内市道現地視察



倉嶋市長に期待したい

春日居町
佐藤 隆志

市民の圧倒的な期待を背負って誕生した倉嶋市政。新市政の誕生から1年が経過しようとしているが、公約に掲げた「市民目線による行政」の実現に向けて取り組んでいる姿が見えてこない。

選挙公約に掲げた大型公共事業の凍結に関して、多機能アリーナ事業とパイオスタウン構想の中止は実現したが、それ以外の事業は市民ミーティングの場を持ち、市民からの意見を聞く形はとつたものの、官僚答弁的な理由で結果として凍結をしないまま事業を継続している。

このような事態に私も含めて、倉嶋さんに1票を投じて応援した市民の多くは納得していないし、失望したのではないかと。百歩譲って、行政の長としての充電が必要であったとして、また職員の意識や能力が不足している事情があるにせよ、自らが目指された「地域力一番」「行財政改革」などの実現に向けて、揺るぎない気概と胆力をもって取り組んでもらいたい。その姿勢を市民が感じることができれば、残り3年に次の4年も合わせて、倉嶋市長に期待を託す選択をするはずである。1年前の初心に立ち返り、「笛吹市に住んでみたい」との思いを抱かせる地域力を創り上げられることに期待したい。

12月定例議会を傍聴してみませんか！

開かれた議会のひとつとして議会の傍聴があります。議員が市民の皆様を代表し、いかにして幸福で住み良い地域にしていくのか様々な質問をして議論を行います。議会活動の、ほんの一部ではありますが、ぜひ、議会の傍聴へ足を運んでみてはいかがでしょうか。日頃と違った議員の一面がご覧いただけます。多くの皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

平成25年 第4回定例会本会議の日程（予定）

- 6日(金) 午後1時30分～ 本会議(初日)行政報告・議案説明・質疑・付託ほか
- 10日(火) 午前10時～ 一般質問
- 11日(水) 午前10時～ 一般質問(予備日)
- 19日(木) 午後2時30分～ 本会議(最終日)委員会審査報告・採決ほか

日程等に変更がある場合もあります。傍聴へはお気軽にお越しください。
傍聴席へは先着順となります。(傍聴人定員42名)



猛暑の夏もいつの間にか過ぎ、秋風の中、聴こえてくる虫の音にしばし万葉の世に心するものは何のせいなのか、光陰矢の如しです。あつという間の1年でした。この間、国政にあつては政権交代、市政にありまして、倉嶋新市政誕生となり、私も市議も多くの新議員がこの1年間、一生懸命共に勉強させていただきました。本市合併後の10年に向かって前向きに執行側と是非々ながら「市民目線」で市民の声を届けてまいりたいと考えています。

いよいよ、安倍政権は来春の消費税増税を決断致したところでありますが、世の中の景気が一過性のものだけでなく、かつ、多くの中小企業や生活弱者であります。お祈りにも共有できる事を心より祈って私も微力ながら頑張っていきたいと思っています。

過日、石巻市の被災地に復興の様子の研修に行ってきました。大川小学校、南三陸町の防災センターで最後まで避難を呼び掛けている被災象徴地で献花と線香を上げてきました。オリピックの招致決定を受け、被災地の復興も今以上に進めるべきと感じました。

(神宮司正人)

MITOYO INTERFACE

笛吹市議会だより No.36

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917
TEL.055-265-2112(直通) FAX.055-265-1101
URL: <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>

発行者： 笛吹市議会議長 前島 敏彦 / 編集： 笛吹市議会広報編集委員会
委員長： 荻野 謙一 副委員長： 岩沢 正敏
委員： 梶原 清 神宮司正人 古屋 始芳 神澤 敏美

笛吹市議会だより No.36 24